

施工前の注意事項

- ・施工前に安全上の注意をよくお読みのうえ、正しく取付けてください。
- ・注意事項は安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- ・施工後は正常に動作することを確認してください。



……「注意」この指示を無視して誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があります。



……このマークは、「接触禁止」の内容です。



……このマークは、してはいけない「禁止」の内容です。



……このマークは、必ず実行していただく「強制」の内容です。



……このマークは、「分解禁止」の内容です。

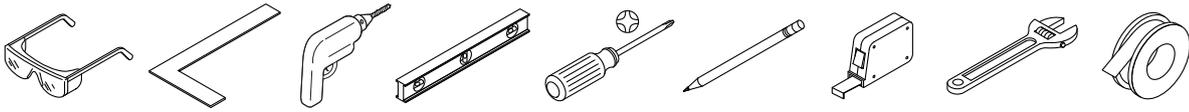
⚠ 取付に関する注意

	施工・交換・移設は、必ず専門の配管工業者に依頼してください。誤った施工は、落下・漏水・壁の破損の原因となります。		一般的に、浴槽用水栓の最高使用圧力は 0.5MPa (5 bar) 程度とされており、これを超える場合は減圧弁などによる圧力調整が必要です。過大な水圧は、水栓内部部品の損傷や漏水の原因となります。
--	--	--	--

⚠ 使用に関する注意

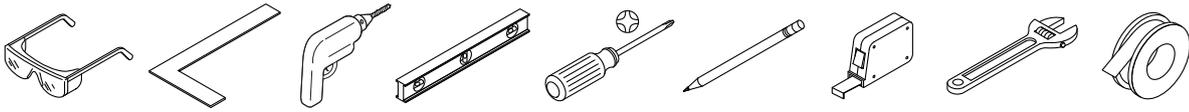
	既設配管内のゴミや砂を十分にフラッシングしてから接続してください。異物が残っていると、目詰まりや漏水の原因となります。		シンナー・塗料・強酸／強アルカリの薬品などを長時間ためたり放置したりしないでください。表面仕上げの劣化や変色の原因となります。
	著しく低い水圧の場合は、吐水量が不足し、浴槽への湯はり時間が大きく延びることがあります。		バス水栓・スパウトは、身体を支えるための手すりとして使用しないでください。破損や転倒のおそれがあります。

必要工具および現場手配品



<p>⚠ 警告: 人的傷害または物的損害の危険があります。 不注意に取り扱くと、製品が破損したり、欠けたり、怪我をする可能性があります。</p> <p>蛇口の底部のOリングの損傷を防ぐため、取り付け中は蛇口を垂直に保ってください。</p> <p>正常に動作するには、最低 45 psi (310 kPa) の動作圧力が必要です。45 psi (310 kPa) 未満の圧力の場合は、配管工にご連絡いただくか、別の蛇口をお選びください。</p>	<p>定格流量が 1.6 ガロン/分 (6.1 リットル/分) 以下の自動補償バルブで使用します。</p> <p>地域の配管および建築に関するすべての規則を遵守してください。</p> <p>お知らせ 説明で使用している図が、一部本製品の形状と異なります。下記の寸法図を参照して該当寸法をご確認ください。</p>	<h3>1 設置準備</h3> <p>バスタブとの寸法に基づいてバス水栓の配置を計画します。2つの床根太の間に木製のサポートを取り付けるのに十分な大きさの穴を床下に開けます。完成した床の上端から57~78 mm下の位置に木製のサポートを固定します。</p> <p>※適切な床支持が必要です。標準的な2x6材ではこの用途には不十分です。 ※木製のサポートは、厚さが最低51mm、幅が152mmである必要があります。 ※蛇口のベースが完成した床面より下であれば、コンクリートを床支持材として使用できます。</p>
<h3>2 水栓向きの確認</h3> <p>冷水供給側の溝が図の方向になるようにベースを配置します。可能であれば、ネジとワッシャーを使って水栓をベースに固定し、吐水口を浴槽の内側に向けてください。この時点で水栓が固定できない場合は、蛇口から浴槽に水が適切に流れるようにベースが配置されていることを確認してください。その後木製のサポートに取り付け穴の位置、ベースの向きを墨付けします。</p> <p>※ベースを固定する前に、水栓の向きが正しいことを確認してください。 ※ベースの冷水供給側には青いマークと切り込みがあります。</p>	<h3>3 ベースの取付</h3> <p>蛇口が取り付けられている場合は、ベースから取り外します。</p> <p>マークした位置を中心点として、約4.8mmのドリルビット (付属) を使用して38 mmの深さの穴を開けます。</p> <p>床支持材としてコンクリートを使用する場合は、約4.8mmの石エビット (付属していません) を使用して、墨付けした位置に38mmの深さの穴を開けます。</p> <p>ベースを墨付けした位置に再設置します。冷水供給に溝が正しい方向になっていることを確認します。</p> <p>付属のネジとワッシャーを使用してベースをサポートに固定します。</p> <p>ベースが水平であることを確認し、ネジを締めます。</p>	
<h3>4 給水管の取付</h3> <p>1/2 NPT の温水および冷水供給パイプのねじにシーラントテープを貼り、パイプをベースにねじ込みます。プラグをベースに挿入し、給水を開始してください。水漏れがないか確認します。給水を停止して、付属のネジを使用してガードをベースに固定します。</p>	<h3>5 仕上げ床の設置</h3> <p>ガード用の直径76mmの穴を残して床を仕上げます。</p> <p>最小ラインと最大ラインの間で仕上げ床を完成させます。</p> <p>ガード部分を仕上げられた床面と同じ高さになるようにカットします。</p>	
<h3>6 水栓の取付</h3> <p>給水がオフになっていることを確認して、慎重に水圧を解放します。プラグをベースから取り外します。水栓からゴム製プロテクターを取り外します。ベースに汚れがまったく付着していないことを確認します。付属のネジとワッシャーを使って水栓をベースに固定します。エスカッションを床までスライドさせて下、ベースを覆います。</p> <p>※水栓のOリングを損傷しないように、取り付け中は水栓を垂直に保ってください。</p>	<h3>7 ハンドシャワーホースの取付</h3> <p>ハンドシャワーホースをハンドシャワー分岐管に取り付けます。ゴミを洗い流し、漏れがないか確認してください。</p> <p>水栓のハンドルがオフの位置にあることを確認します。吐水口からエアレーターを取り外してください。給水を開始し、水漏れがないか確認します。</p> <p>ホースを浴槽内に向け、蛇口のハンドルをONの位置に回します。ダイバーターを引き出してホースに水を流し、ゴミを取り除きます。分岐装置をリセットするには、水栓をオフにしてください。水栓をオンにして、注ぎ口から温水と冷水を流し、ゴミを取り除きます。水漏れがないか確認してください。</p>	

必要工具および現場手配品

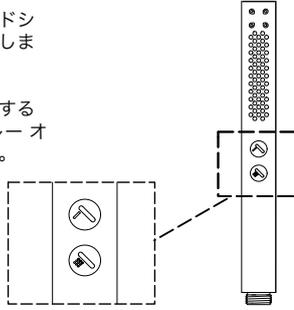


8 ハンドシャワーの取付

ハンドシャワーをホースに取り付けます。

ハンドシャワーをハンドシャワーホルダーに配置します。

ボタンを押して、希望するハンドシャワー スプレー オプションを選択します。



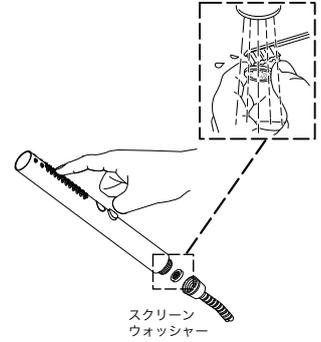
ハンドシャワーのメンテナンス

ノズルの清掃

ハンドシャワーから水を流します。ハンドシャワーの噴射口を指で前後にしっかりとこすります。

スクリーンウォッシャーの清掃

レンチを使用して、ハンドシャワーをシャワーホースから取り外します。細いマイナスドライバーを使用して、スクリーンウォッシャーの端を慎重にこじ開けます。スクリーンウォッシャーを取り外してください。流量制御は取り外さないでください。スクリーンウォッシャーを清掃して、ゴミやミネラルの蓄積を取り除きます。ハンドシャワーをシャワーホースに再度取り付けます。



最高水温を調整

止めネジを緩めてハンドルを取り外します。
※止めネジは緩めるだけで、取り外さないでください。

インデクサーを調整して最高水温を変更します。水をオンにし、バルブシステムを完全に熱くして、新しい最大水温を確認します。

ハンドルを元に戻して、止めネジを締めてください。

